ひろき

つよく かしこく こころ ゆたかな子

校訓

広本小のキャッチフレーズ
明るいあいさつ　元気な歌声　花いっぱいの広本小

URL http://keinet.com/hirokis/index.htm

鹿児島市立
広本小学校PTA
電話 099-264-7244

編集/PTA広報部
部門責任者 PTA会長 / 山口 博隆

児童数 534名
P戸数 411戸
職員数 36名
平成23年7月1日現在

笑顔でアタック!? 青春の汗をもう一度…

2年ぶり PTA親睦ソフトバレー大会 in 新広本小体育館

6月18日(土)・3月下旬に完成した新体育館で行われたソフトバレー大会。外は大雨でしたが、体育館の中では歓声が響き渡り、ハーフルールの連続で大盛り上がりの2年ぶりに開催されたPTAのスポーツ大会。「親睦」という成功したようです。

新しい体育館を探検しよう♪

●2Fサブアリーナ
2階には小スポーツが楽しめるサブアリーナが設置されました。ソフトバレー大会時には子どもたちが仲良く遊ぶ姿が見られました。いろいろな行事に活用できそうです。

●男女共用更衣室
女子用トイレと男子用小便器を共用の男女共用更衣室が設置されました。ご利用前にぜひ一度ご覧になってください。

●玄関ロビー
ガラス張りの吹き抜けの玄関ロビー。クリーンなボールが空を舞う。ゆったりとした空間で、ご来客の方々にも安心感を与えます。

手づくり応援グッズで大声援

多クラスの応援にきびかで、手づくりの「鳴り物」を手に、親子で熱のそろった応援合戦もくりひろげられました。そんな大声援の中、決勝戦はまれにみる好カード「先生チーム VS 1-2チーム」となりました。いつも以上にハッスルする先生たちを相手に、子どもたちがつくりあげた連動型で、気合の入った競たちが発揮され勝ー チームワークの良さが一番光っていたチームでした。当日はお父さん方の参加も多く、日頃の運動不足の解消にもなったことでしょう。スポーツを通じてのPTA親睦会、いい汗をかきながら楽しんだ一日となりました。さあ、来年の開催まで、トレーニングしてみてはいかがですか?

運営委員会の役割

広本小のPTA活動を執行部を中心として、総務部として活動する各学級委員長、副委員長、様々な専門部 事業部・保体部・研修部・生活指導部・広報部、地域PTA役員で組織しています。その代表者と教頭の校長先生、ひろき前に校舎「運営委員会」を回き、活動に関しての話し合いをしています。運営委員会の活発な意見交換により今後のPTA活動がより良きものになるよう活動していきたいと思います。

主な活動内容

執行部	PTA行事や活動の全体運営、校外・地域との連携を図る。学校側との協議など
総務部	PTA学級活動の企画・運営
研修部	教育講演会・研修視察（隔年）の企画・参加、ベルマーク集計、カートリッジ収集など
保体部	プール掃除・監視、遊歩会一部競技の企画運営及び清掃活動、応急手当講習会の企画・運営等
事業部	バザー企画・運営、リサイクル活動
生活指導部	あいさつ運動、下校指導、バザー駐車場係など
広報部	PTA広報紙「ひろき」の発行
地域PTA	地域活動の企画・運営

本年度の広本小PTA役員の紹ぶれです。このメンバーで23年度の広本小を盛り上げていきます。顔写真を掲載していますのでぜひ覚えていただき、顔を見かけられたら気軽にお声をかけてください。皆さんも一緒にPTA活動盛り上げていきましょう。一年間どうぞよろしくお願いします。

田中先生の部屋

写真が趣味の3年3組田中先生に、日常を写したとっておきの一枚を紹介してもらいます。

今回の一枚『僕ら、ずっと友達だよ』

3年生の遠足にて撮影。今の笑顔を忘れず、永遠の友でいてほしいとの願いを込めて。

個性あふれる笑顔がとても印象的ですね。
友達っていいな!という雰囲気がとてもあふれています。

家族で楽しく、丈夫な歯を作るために

5月2日、保体部で企画された「鹿児島歯科学院専門学校・歯科衛生士科」の学生さんたちによる歯科指導に参加してきました。

講師の学生さんたちによる手づくりの絵カードで、むし歯になりやすい食べ物なりやすく説明してくれました。子どもたちも興味津々で積極的に手を挙げ質問をしていました。後半では実技指導があり、歯ブラシの上手な使い方も練習しました。そしてどのようにして磨けばより効果的か教えていただきました。子どもたちが持参した歯ブラシを使って実践しました。子どもたちが熱心に指導を受けていました。

家は「ハミガキ月に一度歯科に通いフォローアップしています。毎日フッ素で歯磨きをしてお口の健康を維持しています。今回の歯科指導で教わったことを子どもたちとの中でもっと大切にしていこうと思いました。

いざという時に……

7月1日に体育館で応急手当講習会が開かれました。救急隊の方々の指導でAEDを使用した心肺蘇生法を学びました。監視等で「もしも」の時に備う者いみなさん真剣なまなざしで講習を受けていました。

目標達成!! 25メートル泳いだよ

先日、学年ごとに水泳学習発表会が開かれました。はじめは1年生の歩いてはいるが大ブルーバスタイプを一生懸命泳ぎきる姿が印象的でした。お母さん、お父さんの応援も大変喜びのようでした。

愛校作業へ参加を!

今年も夏休みの8月21日(日)(予備日は9月11日・日曜)、早朝9時から愛校作業が予定されています。学校の環境整備と子どもたちが新学期を気持ちよく迎えられるように、多くの方々の参加をお願いします。

編集後記

一学期に、運動会や水泳大会などスポーツの行事で体をいっぱい動かしたお子どもたちは、ひとまず夏休みを迎えました。とても頑張っていました。

しく思えるようになりました。しかし、そこはまだまだ小さい子どもたち。水の事故や交通事故などに十分気をつけて、楽しい夏休みを過ごしてほしいと願います。新しい広報部での第1回号はいかがだったでしょうか?ご協力いただいた方々へ心から感謝いたします。ありがとうございました。

広報部

やぶつばきのつ・ぶ・や・き ㉒

つぶやくようなこと、囁くようなこと、ツイッターが主流であるが、私はそれよりも早くつぶやいている。つぶやくのはそれぞれ人それぞれだが、誰かに今の自分の心境を知ってもらったり、皆とつながっているんだなと感じたり、支がかたくなったり。現代はストレスを解放する、少しでもストレスを解放するのに、つぶやきは役に立つのかもしれない。友達が聞いてもらえることは、やっぱりうれしいものだ。他の誰にもつぶやきたくないことは、私につぶやきたくなればいい。

私は、広本小南門の前の「やぶつばき」。平成4年11月、広本小のシンボルツリーとして樹立された。

近頃は、新しい体育館ばかりが子どもたちに人気が集まるのかなと思ったりもする。

そもそも、子どもたちは、私の存在を見ようとしているのだろうか、できれば気づいてほしい、私が目が合ったら、ちょっとだけ、この「ひろき」だけである。普段は、「無口だ」と言われるこの私の存在を感じてもらいたいものだ。

一学期も、もうすぐ終わり、子どもたちが待ちに待っていた夏休みが来る。今年の一学期をふり返ってみ、保護者、先生、地域の人、皆、みんなが、一生懸命、笑顔で、元気に走りまくっていたと思う。新一年生の入学式、運動会に参観、見、夏風訪問などを目まぐるしい一学期だったと思う。

つぶやくことは、接近ツイッターが主流であるが、私はそれよりも早くつぶやいている。つぶやくのはそれぞれ人それぞれだが、誰かに今の自分の心境を知ってもらったり、皆とつながっているんだなと感じたり、支がかたくなったり。現代はストレスを解放する、少しでもストレスを解放するのに、つぶやきは役に立つのかもしれない。友達が聞いてもらえることは、やっぱりうれしいものだ。他の誰にもつぶやきたくないことは、私につぶやきたくなればいい。

かつてない災害に今、感じることは…

2011年3月11日、東日本大震災の発生から、大津波に襲われ、3か月以上たつ今現在においても過酷な現状は消えず、大きな被害を受けた地域の人々は、今なお、苦しい生活を強いられています。この災害に私たちはどのように向き合っていけばよいのでしょうか。

そこで、今年度の防災・減災に関する取組を通して、子どもの命を守る」というテーマを掲げました。特に東京湾に面した高水面ゼロ地域である本校の安全対策を見直し、「災害編」を一学期に、「豊かな防災に対する安全対策」を二学期に、「被災編」として、学校・家庭・地域での復興活動を思考し、今後の課題を見つけていきたいと思います。

特集 子どもの命を守る

～今、私たちができることは～

★ねらい
①国水面の事態に備え、自他の命を守り、安全に下校するための基礎を築う。
②それぞれの地域で、災害の下校時の実際、過当箇所の状況を把握する。
③その場に応じた指導をすることにより、事故防止の意識を高める。

第1回【災害編】

今年の梅雨入りは例年に比べ非常に早く、さらに気象庁は例年より梅雨明けは遅くなるとの発表をしました。

予測通りの梅雨入りとなり、近年の異常気象を思の当たりにする思いで、梅雨前線訓練・集団下校の様子をレポートし、「もしも災害が起きたら…」を想定し、学校での取り組みを紹介し、家庭や地域で私たちが今何をしなければならないかを考えたいと思います。

“想定外”の風水害の事態に備え…避難訓練・集団下校レポート 6月10日

当日は朝から猛烈な前兆を見舞われ、「非常時」と実感する状況が続いています。各教室で「8・5水害」の当時のニュース番組をみんなで視聴しました。約半世紀前のことなので、子どもたちの様子と動揺しているものいて、2年生の学級では「鹿児島で起こったんだよ」と先生がみんなに解説する場面もありました。この水害で死亡した人が出たこと、街が水没している様子、立派な石垣が壊されていく映像に「びっくりしている様子でした。子どもたちは自分たちの住んでいる地域の映像が過去に起こったんだということを学びました。

その後、先生から当時水害時の注意点が挙げられました。あわてないで、「早めに帰宅する」、「親もしくは家族に迎えに来てもらう」、「一緒に帰宅する人を作る」、「一人で帰らない」、「一人で帰る場合は、必ず家の人に連絡する」、「家族と連絡がとれない時は、学校に来る」、「学校に来ても家族と連絡がとれない時は、学校に泊まる」、「学校に来ても家族と連絡がとれない時は、学校に泊まる」、「学校に来ても家族と連絡がとれない時は、学校に泊まる